

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	視能訓練士学科3年制		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	解剖生理学Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2)
対 象 学 年	1年		学期	後期	教室名	703教室
担 当 教 員	保地 譲					
実務経験とその関連資格	臨床検査技師として大阪市独立行政病院機構(大阪市立総合医療センター、旧小児保健センタ、北市民病院)に臨床検査技師として35年間勤務。主業務は病理検査(解剖含む)、血液検査、一般検査、緊急検査分野ならびに技師の教育に携わっていた。現在、大阪細胞病理研究所に非常勤勤務。資格:国際細胞検査士、二級甲類臨床病理技術(血液)所持。日本臨床検査学会会員、日本臨床細胞学会会員。					
《授業科目における学習内容》						
・院内感染予防及び眼科領域の医学知識を理解するのに必要な、全身の構造と働きを系統立てて学ぶ。 ・具体的に、骨格・運動器系、脳・脊髄神経系の構造(解剖学的)、機能(生理)を理解するとともに人体構成するうえでの関連性も学習する。 ・講義ごとにグループ討議の問題を提示し、グループ員の知識で正解を導き出させる。そして、チーム意識を高めさせる。						
《成績評価の方法と基準》						
・講義内容の研鑽もかねて、課題テーマに対するレポート評価30%及び授業態度含む平素評価20%の計50% ・終講試験は、選択試験を行う。その評価点40% ・班として、学習研鑽評価10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
・予定:ぜんぶわかる人体解剖図―系統別・部位別にわかりやすくビジュアル解説 成美堂出版 1900円＋税 (著) 坂井 建雄、橋本 尚詞 ・講義プリントを随時配布する。						
《授業外における学習方法》						
・講義または実習日までに関連の知識、手順を予習しておくこと。 ・配布する講義資料には講義メモをし、しっかり復習すること。 ・課題テーマのレポートは形式または評価シートのポイントに従って記述していくこと。						
《履修に当たっての留意点》 高等教育無償化に伴う新たな制度ではSDGs(持続可能な開発目標)やGPA(grade point average)成績評価方法などの客観的指標が設定されています。 講義内容を理解するためにも関連する新聞記事やニュースに気付いたら、ぜひ見て下さい。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	ヒトの発生について説明できるようになる。		教科書 配布プリント	今回の講義内容の知識を教科書等で予習しておくこと。	
	各コマにおける授業予定	卵子と精子の発生から成熟過程を学ぶ。受精から出産までの人の発生過程を学ぶ。 講義関連の課題や討議事項を班でディベートする。 前講義の演習テスト、本講義の総括としてE-講義を中心に理解を深める				
第2回	授業を通じての到達目標	細胞と組織、器官系が説明できるようになる。		教科書 配布プリント	今回の講義内容の知識を教科書等で予習しておくこと。分野ごとの課題テーマの自己研鑽とレポート作成	
	各コマにおける授業予定	細胞から器官系に至るまでの生命体基本単位の過程を学ぶ。 細胞小胞体から器官系の形態分類と機能を学ぶ。 講義関連の課題や討議事項を班でディベートする。 前講義の演習テスト、本講義の総括としてE-講義を中心に理解を深める				
第3回	授業を通じての到達目標	血液Ⅰ(血液成分について説明できるようになる。)		教科書 配布プリント	今回の講義内容の知識を教科書等で予習しておくこと。	
	各コマにおける授業予定	卵子と精子の発生から成熟過程を学ぶ。受精から出産までの人の発生過程を学ぶ。 講義関連の課題や討議事項を班でディベートする。 前講義の演習テスト、本講義の総括としてE-講義を中心に理解を深める				
第4回	授業を通じての到達目標	血液Ⅱ(正常末梢血液中に見られる血液細胞の形態と機能が説明できるようになる。)		教科書 配布プリント	今回の講義内容の知識を教科書等で予習しておくこと。	
	各コマにおける授業予定	ライト・ギムザ染色血液塗抹標本を顕微鏡で観察し末梢血液細胞の形態学的特徴を描写する。 各血液成分の形態異常に伴う臨床的意義を学ぶ。				
第5回	授業を通じての到達目標	循環器(心臓の構造と働きについて説明できるようになる。)		教科書 配布プリント	今回の講義内容の知識を教科書等で予習しておくこと。分野ごとの課題テーマの自己研鑽とレポート作成	
	各コマにおける授業予定	心臓の解剖学的構造と血液循環の仕組みについて学ぶ。 心臓の拍動(刺激伝達系)と心臓の栄養補給の仕組みを学ぶ。 講義関連の課題や討議事項を班でディベートする。 前講義の演習テスト、本講義の総括としてE-講義を中心に理解を深める				

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	血圧のメカニズムと高血圧との関連が説明できるようになる。	教科書 配布プリント	今回の講義内容の知識を教科書等で予習しておくこと。分野ごとの課題テーマの自己研鑽とレポート作成
	各コマにおける授業予定	聴診器の使用方法を学ぶ。 手指による脈拍測定や聴診器使用し、血圧測定を実習する。 実習の総括とE-講義を中心に復習する。		
第7回	授業を通じての到達目標	呼吸器(肺の構造と働きが説明できるようになる。)	教科書 配布プリント	今回の講義内容の知識を教科書等で予習しておくこと。分野ごとの課題テーマの自己研鑽とレポート作成
	各コマにおける授業予定	肺の解剖学的構造と呼吸の仕組みを学ぶ。 肺胞での酸素と二酸化炭素との交換の仕組みを学ぶ。 講義関連の課題や討議事項を班でディベートする。 前講義の演習テスト、本講義の総括としてE-講義を中心に理解を深める		
第8回	授業を通じての到達目標	消化器Ⅰ(上部消化管の構造と機能が説明できるようになる。)	教科書 配布プリント	今回の講義内容の知識を教科書等で予習しておくこと。分野ごとの課題テーマの自己研鑽とレポート作成
	各コマにおける授業予定	口腔から胃までの上部消化管の構造と働きを学ぶ 上部消化管の代表的な疾患を学ぶ。 講義関連の課題や討議事項を班でディベートする。 前講義の演習テスト、本講義の総括としてE-講義を中心に理解を深める		
第9回	授業を通じての到達目標	消化器Ⅱ(下部消化管の臓器の構造と機能が説明できるようになる。)	教科書 配布プリント	今回の講義内容の知識を教科書等で予習しておくこと。分野ごとの課題テーマの自己研鑽とレポート作成
	各コマにおける授業予定	十二指腸、小腸の構造と働きを学ぶ。 大腸、肛門の構造と働き及び排便の仕組みを学ぶ。 講義関連の課題や討議事項を班でディベートする。 前講義の演習テスト、本講義の総括としてE-講義を中心に理解を深める		
第10回	授業を通じての到達目標	消化器Ⅲ(胆肝膵の構造と働きについて説明できるようになる。)	教科書 配布プリント	今回の講義内容の知識を教科書等で予習しておくこと。分野ごとの課題テーマの自己研鑽とレポート作成
	各コマにおける授業予定	肝臓・胆嚢・膵像の解剖学的構造と働き及び関連を学ぶ。 講義関連の課題や討議事項を班でディベートする。 前講義の演習テスト、本講義の総括としてE-講義を中心に理解を深める。		
第11回	授業を通じての到達目標	その他の臓器(甲状腺、副甲状腺、副腎の構造とはたらきについて説明できるようになる。)	教科書 配布プリント	今回の講義内容の知識を教科書等で予習しておくこと。分野ごとの課題テーマの自己研鑽とレポート作成
	各コマにおける授業予定	甲状腺、副甲状腺、副腎の構造とはたらき及び分泌されるホルモンの作用を学ぶ。 講義関連の課題や討議事項を班でディベートする。 前講義の演習テスト、本講義の総括としてE-講義を中心に理解を深める		
第12回	授業を通じての到達目標	泌尿器Ⅰ(腎臓の働きについて説明できるようになる。)	教科書 配布プリント	今回の講義内容の知識を教科書等で予習しておくこと。分野ごとの課題テーマの自己研鑽とレポート作成
	各コマにおける授業予定	腎臓の解剖学的構造と働きが説明できるようになる。 代表的な腎疾患(ネフローゼ症候群)についても学ぶ。 講義関連の課題や討議事項を班でディベートする。 前講義の演習テスト、本講義の総括としてE-講義を中心に理解を深める		
第13回	授業を通じての到達目標	泌尿器Ⅱ(尿道の構造と働きについて説明できるようになる。)	教科書 配布プリント	今回の講義内容の知識を教科書等で予習しておくこと。分野ごとの課題テーマの自己研鑽とレポート作成
	各コマにおける授業予定	尿管、膀胱の構造と働きについて学ぶ。 男性、女性の尿道の違いと排尿の仕組みについて学ぶ。 講義関連の課題や討議事項を班でディベートする。 前講義の演習テスト、本講義の総括としてE-講義を中心に理解を深める		
第14回	授業を通じての到達目標	生殖器(男性、女性の生殖器の構造と特徴について説明できるようになる。)	教科書 配布プリント	今回の講義内容の知識を教科書等で予習しておくこと。分野ごとの課題テーマの自己研鑽とレポート作成
	各コマにおける授業予定	精巣、陰茎の構造と働きについて学ぶ。 卵巣、子宮、乳房の構造と働きについて学ぶ。 講義関連の課題や討議事項を班でディベートする。 前講義の演習テスト、本講義の総括としてE-講義を中心に理解を深める		
第15回	授業を通じての到達目標	今期の構造と研鑽結果をわかりやすく発表できるようになる。	教科書 配布プリント	事前に班で発表時間内であること。予想される質問事項、各自の役割、内容を協議しておくこと。
	各コマにおける授業予定	今期講義のスタイルについての成果、充実度について講師と学生とで確認する。 班ごとに研鑽課題をプレゼンテーションで発表する。質疑応答後、課題を評価する。		